

会 議 記 録 簿

記 録	職・氏名 社会教育課(施策担当) 主事 飛弾野 冬華		
件 名	令和7年度第1回恵庭市社会教育委員の会議		
日 時	令和7年6月6日(金) 10:00～12:00	会 場	市民会館(第1会議室)
出席者	恵庭市社会教育委員 井上、佐藤、中山、高橋、平井、茶園、根深 市教委 狩野部長 (社会教育課)黒氏課長、津田主査、村山主査、飛弾野 (読書推進課)和合課長 (郷土資料館)高野館長	人 数	委員 7名 市教委 7名

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 正副委員長選出

恵庭市社会教育委員の会議 副委員長 井上 大樹
恵庭市教育委員会 教育部長 狩野 洋一

4. 【議題】※詳細については別紙のとおり

(1) 報告事項① 令和6年度「社会教育事業報告」について (報告)

報告事項② 令和6年度「社会教育施設利用状況報告」について (報告)

A委員

青少年宿泊研修施設について10・11月休館だったとのことだが、12月の利用も無いようだが、休館の間は申請の受付はしていなかったのか。

→(社会教育課)

休館日も申請の受付は行っていたが、申請はなかった。冬の期間は例年、利用の申請が少ないため、課題と感じている。

A委員

図書館の報告の中に、電子書籍の話が出ていたが、報告の中に反映はされているか。

→(読書推進課)

電子書籍では1,300冊の蔵書数があり、貸出冊数は4,383冊である。学校図書館も電子書籍を入れてタブレットで読んでいる子どももいるが、報告書の中には含まれていない。

A委員

電子書籍の貸出冊数も報告書の中に入っているといいのではと思う。また、中学生の1人当たりの貸出冊数が前年度と比べて減っているとのことだが、タブレットで読んでいる子が増えているのなら、むしろ増えているということはないのか。

→(読書推進課)

読書推進課でも、電子書籍分も含めて冊数計算をしているが、そこまで増加するほど電子書籍は読まれていなかった。ただ、小学校の朝読で一部電子図書を使っている学校も増えているため、学校統計に

あわせて掲載することを考えていきたい。

A委員

郷土資料館の中学生の利用について、R6年度から利用がない。思い当たる要因などあるか？

→(郷土資料館)

考えられる要因としては、授業の中で郷土資料館を見学する時間を設ける機会が中々ないことや、市内学校の利用手段がないことではないかと思う。エコバスの停留所からも少し歩くため、利用が難しいのではと考えている。

B委員

逆に大学生の利用が増えているように見えるが、その要因はなにか。

→(郷土資料館)

北海道文教大学の先生が企画し、興味のある大学生を連れてきてくれている。

→(社会教育課)

地域未来学科ができたことで、施設見学などを行っていることも一つの要因ではないかと思う。

C委員

図書館の入館者数のカウント方法について伺いたい。また、本館の蔵書数がR2年度と比較して減っている。新しい図書を補填している様子もないが、理由はあるか。

→(読書推進課)

入館者数のカウントについては、入口のセンサーで判断している。

本館の蔵書数については、R2年度に、本棚が隙間なく詰められていることから、探しやすいように除籍を行っている。常に本館内の蔵書数は一定になるようにしている。

社会教育課

D委員に伺いたい。先ほど、郷土資料館の学校見学について話があったが、学校の授業についてはかなり前に決めているのか？

D委員

授業のカリキュラムについては年度が始まる前に決まっているが、今はバス代金とても高いという課題がある。バスを利用してというのはカットせざるを得ない。修学旅行の手配ですら大変。

E委員

釧路市では、一つの学校単位でバスを借りる事ができず、教育委員会が間に入り、合同で行えるように手配をしている。複数の学校が合同でという形で行うとなると早くから動かなければならないと思うが、教育総務課の方でも検討いただきたい。時間はかかるかもしれないが、仕組みを作っていただくことを教育委員会として出来る事を検討いただきたい。

A委員

位置的に事前のカリキュラムの中で決まっていなくてもフラッと行くことが出来るのは恵み野旭小学校だけではないか。

社会教育課

郷土資料館だけではなく、図書館、社会教育も含めて子どもの体験の場の創出として考えていかなければならない。教育総務課も交えて検討していきたい。生涯学習基本計画でも、子どもの体験の場の創出に触れながら行っていきたい。

E委員

大学の話もだが、大学が尊重すべき教養教育について、様々なメニューを取り揃えることのできる大学は北海道ではほとんどない。その中で、施設に触れるというのを地元の大学とつながって行うのは互いにとっていいのではないか。

報告事項③ 7年度「恵庭市の社会教育」について

(報告)

- ・鈴木吾郎作品寄贈記念展について
- ・図書館本館改修の基本計画策定年度となっている。
- ・恵庭 100 年の歩み、特別展示室の開催(柏陽地区の発掘物)、学芸員の展示解説について

A 委員

補助金の予算額が記載されているが、R6 年度どれくらい使ったかが分かるような箇所はあるか。予算額決算額が分かると、どのような動きながあるのかわかりやすい。

社会教育課

社会教育事業報告の中に含まれているところもあるが、記載されていない箇所もある。

次年度から前年度の決算についても記載していきたい。

補助金について、青少年育成事業補助金は増額している。昨年度は予算を超える多くの応募があり、十分に事業が行えるよう、30 万円ほど増額をおこなっている。

また、育成市民の会については周年事業開催のため増額、すずらん踊り保存会は子ども達のはっぴ購入のため増額をおこなっている。

5. その他・意見交換

社会教育課

【恵庭市の社会教育委員について】

→今後の研修や会議の案内について

【社会教育委員の自主研修会について】

→自主研修会は委員の皆さんが自主的に、「恵庭市の社会教育について」「自分たちの活動について」などを話しあっていた。今年度も皆さんの自主学習の場であることから、希望に応じて社会教育課で場の設定を行うが、今年度は生涯学習基本計画の策定に向けた会議が多いため、回数を減らしてもいいのではと考えていた。なお、まだ発表が終わっていない委員の活動発表の場は設けたいと考えている。

【青少年宿泊研修施設の周知について】

→青少年宿泊研修施設の今後の周知方法については、利用のイメージが湧くように、実際に青少年の団体が利用している活動の様子や一日の流れなどが分かるようなものをホームページなどで掲載していきたい。

また、スポーツ団体などの合宿の利用も多いため、スポーツ少年団への配布を行っていきたい。

6. 閉会

以上